お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。

ご転居やご贈答などでお困りの場合、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。

所在地、電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ホームページのご案内

消耗品・部品のご購入専用ページ
http://www.zojirushi-fresco.com/

お客様ご相談センター

0570-011874

ナビダイヤル　市内通話料金でご利用いただけます

受付時間　9:00～17:00　月曜日～金曜日（祝日、弊社休業日を除く）

- 携帯電話・PHSでのお問い合わせ　Tel　(06)6356-2451
- ファクシミリでのお問い合わせ　Fax　(06)6356-6143

製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

アルカリイオン整水器保証書　持込修理

取扱説明書、本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型　名	PS-FB30	
※お客様	お名前	
	ご住所　〒 ☎	
※お買い上げ日 年　月　日	※販売店名・住所 ☎	
保証期間 （お買い上げ日より）		
本体 1年		

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. ご転居、ご贈答などで、お買い上げ販売店にお申しつけできない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にお申しつけください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。
   （ロ）お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
   （ニ）一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車輌、船舶へのとう載）に使用された場合の故障および損傷。
   （ホ）本書のご提示がない場合。
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
   （ト）消耗部品の交換。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

- お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理メモ

販売元　象印マホービン株式会社
〒530-8511　大阪市北区天満1丁目20番5号　☎(06)6356-2391

製造販売元　象印ファクトリー・ジャパン株式会社
〒574-0013　大阪府大東市中垣内1丁目2番1号　☎(072)871-3884

PS-FB30 ⒺⒹⒸ

ZOJIRUSHI

家庭用

アルカリイオン整水器　ピュアバランス

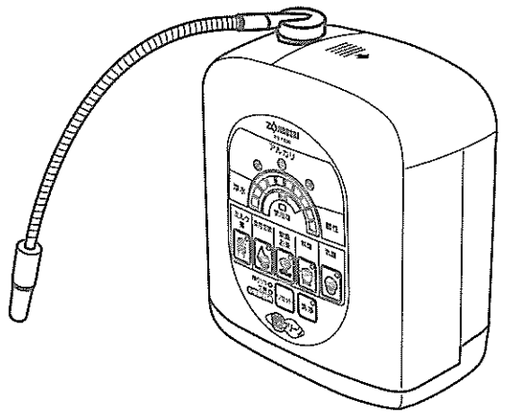
型名 PS-FB30　取扱説明書

このたびは、「アルカリイオン整水器」ピュアバランスをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

●この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用になる前に、2～6ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 「取扱説明書」はお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保存してください。
- 地域・水質によっては、目やすのpH値が得られないことがあります。特に地下水を水源とした地域では、設置後必ずpH測定液で測定してください。
- 正しい取りつけ、および正しく使用されなかった場合の本品の故障や事故、および傷害や病気については、弊社は責任を負いませんので、取りつけ方やご使用方法にはご注意ください。
- 本器は医療用物質生成器として厚生労働省の認可を受けています。

（医療用具承認番号 21300BZZ00088000）



- アルカリイオン整水器のしくみ　1
- メモ　1
- 安全上のご注意　2～6
- 必ずお守りください　7
- 各部のなまえとはたらき　8～11

ご使用の準備

- 1 切換コックを蛇口に取りつける　12～17
- 2 原水ホースと本体を設置し差込みプラグを差し込む　18・19
- 3 本体の空気抜きのため約2分間通水する　20
- 4 生成水パイプ、排水ホースから水が出ていることを確認する　20
- 5 カルシウムを添加する　21
- 6 pH値を測定する　22・23

- アルカリイオン水を使う　24
- 酸性水を使う　25
- 浄水を使う　26
- 水道水そのままの水（原水）を使う　26

お手入れ

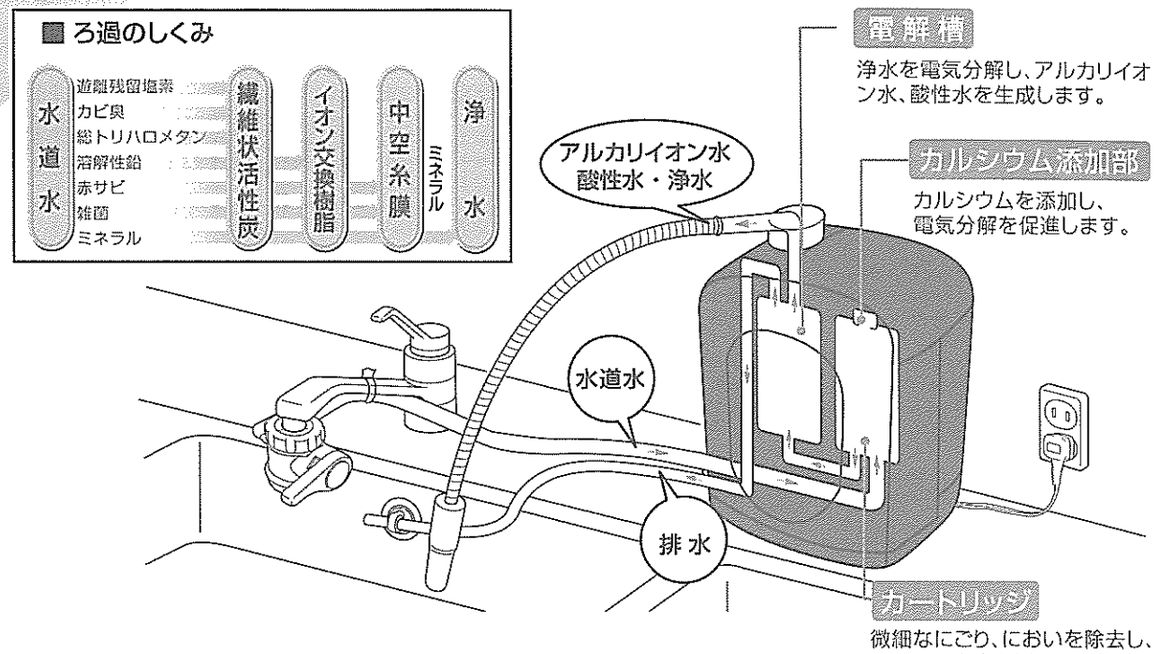
- 本体のお手入れの際のご注意　27
- 切換コック取りつけ口（給水口）のお手入れ　27
- 洗浄運転について　28
- 長期間使用しないときは　28
- 凍結防止について　29
- 停電・断水したときは　29
- 本体の水抜きをするときは　30
- カートリッジの交換　31・32

故障かなと思ったら　36・37

お客様ご相談窓口のご案内　裏表紙

アルカリイオン整水器のしくみ

■本器は水道水をろ過して浄水にし、電気分解することによって、アルカリイオン水および酸性水を生成する装置です。

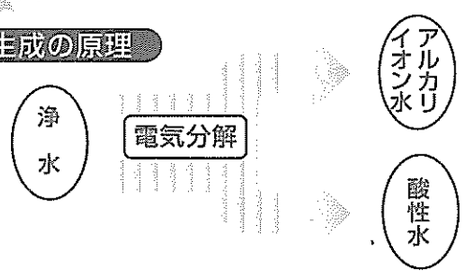


ご注意

開封の際、本体に少量の水が付着していたり、ホースから水が出ることがありますが、出荷検査に使用した水ですので異常ではありません。

メモ1

生成の原理



■カートリッジでろ過された浄水を電気分解し、アルカリイオン水と酸性水を生成します。

メモ2

本器は医療用物質生成器として厚生労働省の認可を受けており、下記の効能・効果が認められています。

生成水の効能・効果

アルカリイオン水

飲用として ☆慢性下痢　☆消化不良　☆胃腸内異常発酵
☆胃酸過多　☆制酸　に有効です。

酸性水

アストリンゼント(化粧水)として美容に用いられます。(飲用はできません。)

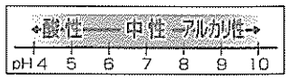
※排水ホースから出る水は飲まないでください。

メモ3

●原水とは‥‥
水道水そのままの水

●浄水とは‥‥
本器を通して、ろ過された水。電気分解されていません。

●pH(イオン濃度)とは‥‥
「アルカリイオン水」「酸性水」のアルカリ性、酸性の強さを数値で表したものです。



メモ4

●この説明書内の「通水量」および「1日の使用水量」は、生成水パイプ・排水ホースからの水量を合計したものです。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警　告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注　意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

禁　止	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
強　制	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警　告

●本器で生成したアルカリイオン水を飲用するときは、次のことに注意する

- 医薬品をアルカリイオン水で服用しないこと。
- 無酸症の人は、アルカリイオン水を飲用しないこと。
- 飲用して身体に異常を感じたとき、またはアルカリイオン水を飲用し続けても症状に改善がみられない場合には、医師または薬剤師に相談してください。

●アルカリイオン水を使用して身体に異常を感じたときはすみやかに使用を中止して医師に相談する

- 体調や体質によりまれに発疹などの症状が出る場合があります。
- 効能・効果は人によって異なります。どなたにでも必ず効果があることを保証するものではありません。
- pH10を超えたアルカリイオン水は飲まないでください。
- 飲み始めは「アルカリ弱」を少量ずつ飲用してください。

●次の方は酸性水（アストリンゼント）を使用する前に医師または薬剤師に相談する

- 肌の弱い方
- アレルギー体質の方

●次の人は使用前に医師、または薬剤師に相談する

- 持病のある人、または身体の弱っている人
- 肝臓・腎臓に障害のある人
- 医師または歯科医師の治療を受けている人

●酸性水（アストリンゼント）を使用して肌に異常を感じたときはすみやかに使用を中止して医師に相談する

●くみ置きの水、その他水道基準以外の飲用不適な水は使わない

禁　止　体調を損なうことがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください つづき

⚠警告

●次のような水は絶対飲まない

禁止

- ●酸性水
- ●排水ホースから出る水
- ●洗浄中に生成水パイプから出る水
- ●pH10を超えた水

体調を損なう原因になることがあります。

●本器に異常がある場合は、すぐに差込みプラグを抜き、点検修理をご依頼ください。

感電や漏電、ショートによる火災の原因になります。

●アルカリイオン水を初めて飲む方は、「アルカリ弱」から少量ずつ飲用し、体調に応じて「アルカリ中」または「アルカリ強」で飲む

体調を損なうことがあります。

●アルカリイオン水使用中に排水ホースから出る酸性水はアストリンゼント（化粧水）として使用しない

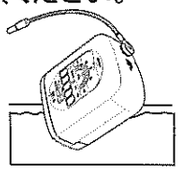
使用すると肌に異常を感じることがあります。

禁止

- ●ためて洗い物などに使用してください。
- ●アストリンゼントには「酸性」を押して生成水パイプから出る弱酸性水をお使いください。

●本体を誤って水中に落としたときは、感電の原因になりますので、

（1）差込みプラグをコンセントから抜き、
（2）本体を引き上げ、
（3）修理をご依頼ください。



●電源コード・差込みプラグを破損するようなことはしない

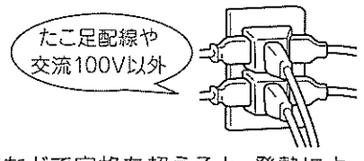
禁止

- ・傷つける・加工する
- ・熱器具に近づける・無理に曲げる
- ・ねじる・引っ張る・重い物を載せる
- ・束ねる・はさみ込むなど

破損したコードを使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V、周波数50-60Hz以外での使用はしない

禁止

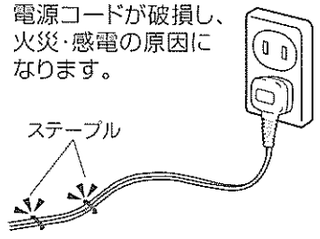


たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

●電源コードをステープルなどで固定しない

禁止

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



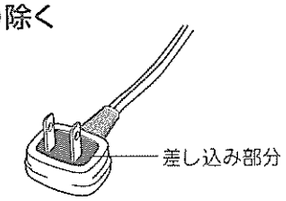
⚠警告

●差込みプラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- ●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

●差込みプラグの差し込み部分にほこりなどがついた場合は、差込みプラグを抜いて取り除く



ほこりなどがたまると、火災の原因になります。

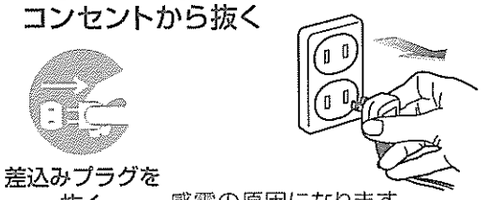
●改造はしない。修理はお買い上げの販売店または弊社のご相談窓口にご相談ください。

分解禁止　火災・感電やけがの原因になります。

●ぬれた手で差込みプラグの抜き差しをしない

ぬれ手禁止　感電の原因になります。

●お手入れの際は必ず差込みプラグをコンセントから抜く



差込みプラグを抜く　感電の原因になります。

⚠注意

●本体を不安定な場所に設置しない

禁止

落ちたり倒れたりし、けがの原因になることがあります。

●ホースは確実に接続する

水もれの原因になります。

- ●接続方法は19ページを参照してください。

●本体に水をかけたり、洗ったりしない

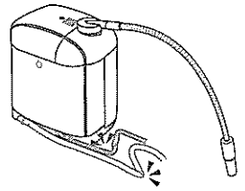
禁止

漏電・感電の原因になることがあります。

- ●お手入れは27ページを参照してください。

●水の出口をふさいだり、ホースを折り曲げたり、ねじったり、つぶしたりしない

禁止

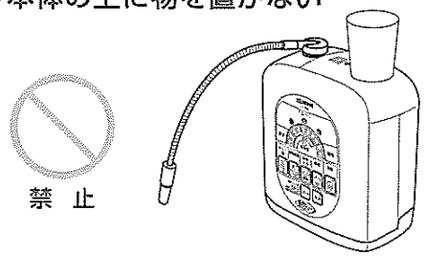


水もれや目やすのpH値の水が出なくなる原因、または故障の原因になることがあります。

安全上のご注意 つづき

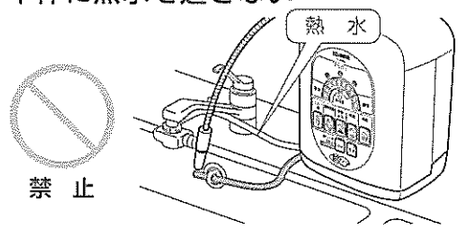
⚠

●本体の上に物を置かない



落下して、けがの原因になることがあります。

●本体に熱水を通さない



本体には35℃以上の熱水を通さないでください。
故障や、やけどの原因になることがあります。

●前回使用した際に本体やホース内に残ってしまった水を使わないために、毎回使い始めの水は捨て流す

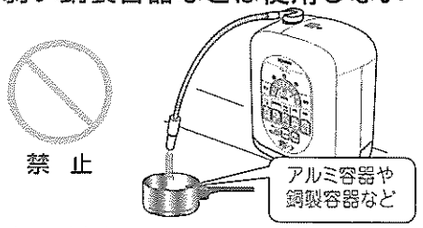
本体表示部の「使用可」ランプが点灯するまで流した後の水をお使いください。

●くみ置きしたアルカリイオン水や浄水は飲まない

●殺菌剤（塩素など）が除去されているため、水が変質し、体調を損なうことがあります。

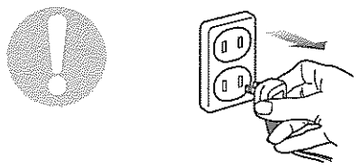
冷蔵庫で保存する場合は2日以内にお飲みください。

●アルカリに弱いアルミ製容器や酸に弱い銅製容器などは使用しない



容器が変色したり、傷むことがあります。

●差込みプラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜く



コードを引っ張ると、接続部が破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

●pH測定液や測定液の入った水は、飲んだり目に入れたりしない（特にお子さまにはご注意ください）

体調を損なうことがあります。

●もし誤って飲用した場合は水を大量に飲み、目に入った場合は十分に水洗いし、医師に相談してください。

●pH測定液は必ずフタをして乳幼児の手の届かないところに保管してください。

●pH測定液は、火気に近づけない

引火し、火災の原因になることがあります。

⚠

●アルカリイオン水や酸性水、浄水を魚などの飼育水に使用しない

環境がかわり、魚などが死ぬ原因になることがあります。

●pH測定液を衣服や台所のカウンターなどにこぼさないように注意する

シミになります。こぼしたときは、できるだけ早く水洗いしてください。

●操作パネルを鋭利なもので操作しない

破損の原因になります。

●指定のカルシウム以外のものは入れない

故障の原因になったり体調を損なうことがあります。

●付属品または別売品をお使いください。

●長期間ご使用にならないときは、必ず差込みプラグをコンセントから抜く

絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。

●長期間使用しないで、再使用する場合は、正常に作動するか確認する

正常に作動しないときはお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

必ずお守りください

●水道工事などで水の濁りがひどいときは本器を使用しないでください。

切換コック内のメッシュなどが目づまりをおこします。万一、目づまりをおこしたときは、お手入れしてください。(→27ページ参照)

●カートリッジ、カートリッジ押さえ、カルシウムキャップをはずしたままで通水しないでください。

はずしたままでご使用になりますと、本体から水があふれ故障の原因になります。

●カートリッジの交換、カルシウムの添加は定期的に行ってください。

(→21・31ページ参照)

●アルカリイオン水をアルミニウム製の器具で使う場合は、腐食したり、ひどい時は穴が開いたりすることがあります。

イオン水(アルカリ、酸性)の調理、加熱にはステンレス、ガラス、陶器、ほうろう製を使用し、イオン水の保存にはこれらの他にプラスチック製の容器をご利用ください。

●アルカリイオン水を直接飲用する場合・・・

目やすとして一日500~600mℓを2~3回に分けて飲用してください。

●寒冷地で水道が凍結する時期は・・・

夜間、切換コックから原水ホースをはずし、本体をタオルなどで保温するか、あるいは、暖かい場所に移動させて凍結を防止してください。(→29ページ参照)

●次のような水は通水しないでください。故障の原因になることがあります。

- 濁りのひどい水
- 硬度の高い水
- 赤さびの多い水
- 塩分の多い水

●次のような場所には設置しないでください。故障の原因になることがあります。

- 火を使用しているところ、その他高温部(60℃以上)の近く
- 直射日光のあたるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 水のかかりやすいところ

●濃度の高いアルカリイオン水を飲用した場合、まれに下痢や便秘をしたり、湿疹が出たりすることがあります。

このようなときには、一時アルカリイオン水の飲用を中止し、医師または薬剤師に相談してください。

●「洗浄ランプ」が点滅したら

必ず水を流しながら洗浄ボタンを押してください。(→28ページ参照)

●本体を落としたり強い衝撃を与えないでください。

故障または破損の原因になります。

●アルカリイオン水または酸性水を連続して10分以上生成しないでください。

10分以上使用すると、機器保護のため電気分解を中止して自動的に「ミルク・薬」(浄水)モードにかわり、生成水パイプから浄水が出てきます。

●地域・水質によっては、目やすのpH値が得られないことがあります。

特に地下水を水源とした地域では設置後、必ずpH測定液で測定してください。

●水の硬度が高い地域で使用するときは、1日1回、酸性水を約1分間通水してください。

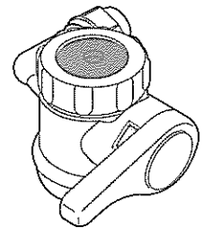
硬度が高いと、やかんなどの容器に白い粉(カルシウム)が付着します。

各部のなまえとはたらき

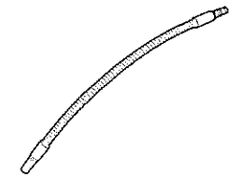
付属品

ご使用の前に、次の付属品をお確かめください。

切換コック

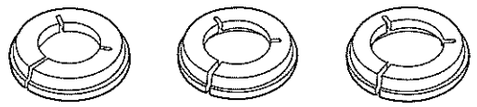


生成水パイプ



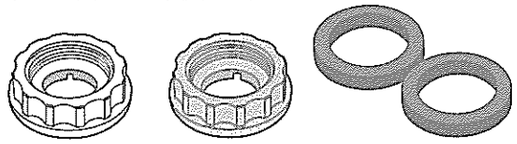
切換コック取りつけ用付属品(アダプターセット)

〈Aセット〉 丸型パイプ用



16mm　17.5mm　19mm

〈Bセット〉 泡沫水栓・外ネジ用



白　グレー　パッキン(×2)

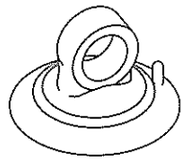
〈Cセット〉 泡沫水栓・内ネジ用

白(Oリング付き)　グレー(パッキン付き)

〈Dセット〉 ビス止め蛇口用

ホース固定用付属品

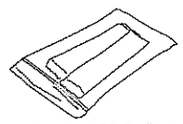
排水ホース固定用吸盤



原水ホース固定バンド

消耗品

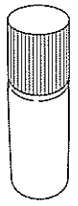
カルシウム(3g入り×2本)



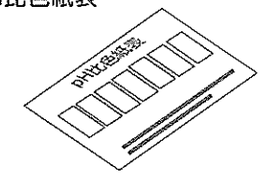
※カルシウムとは指定のグリセロリン酸カルシウムのことです。

pH測定用品

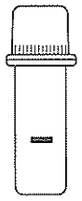
pH測定液10mℓ



pH比色紙表

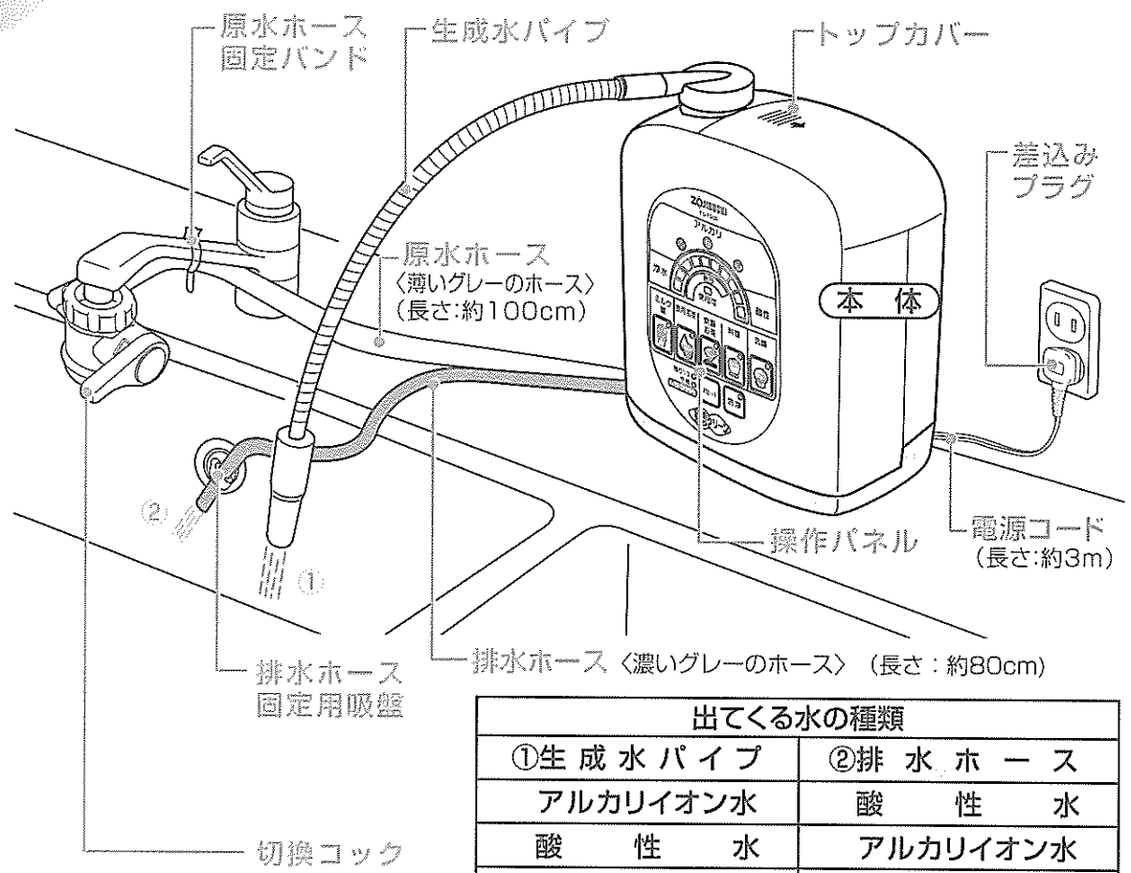


専用容器



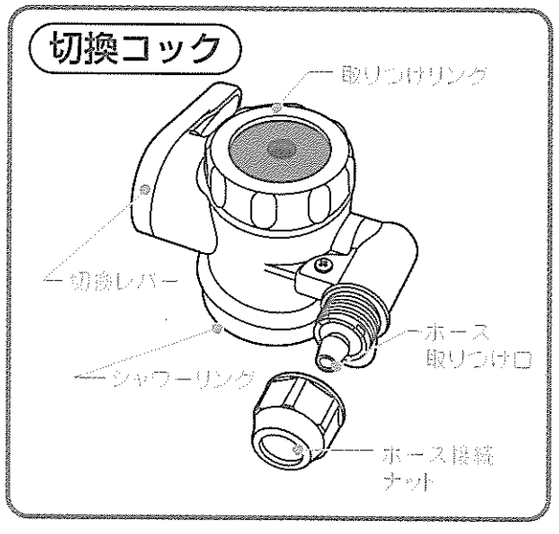
各部のなまえとはたらき つづき

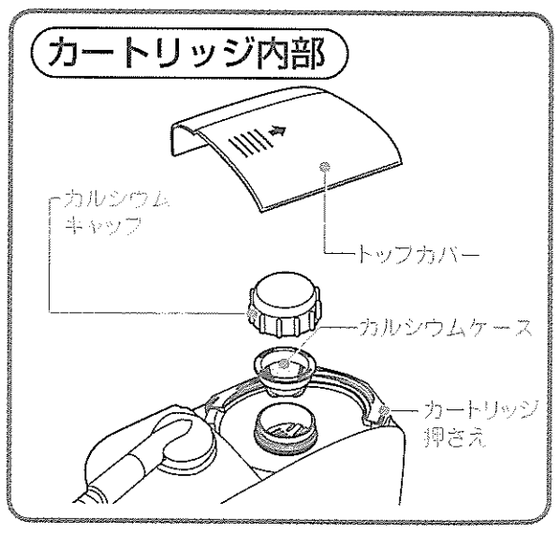
本　体



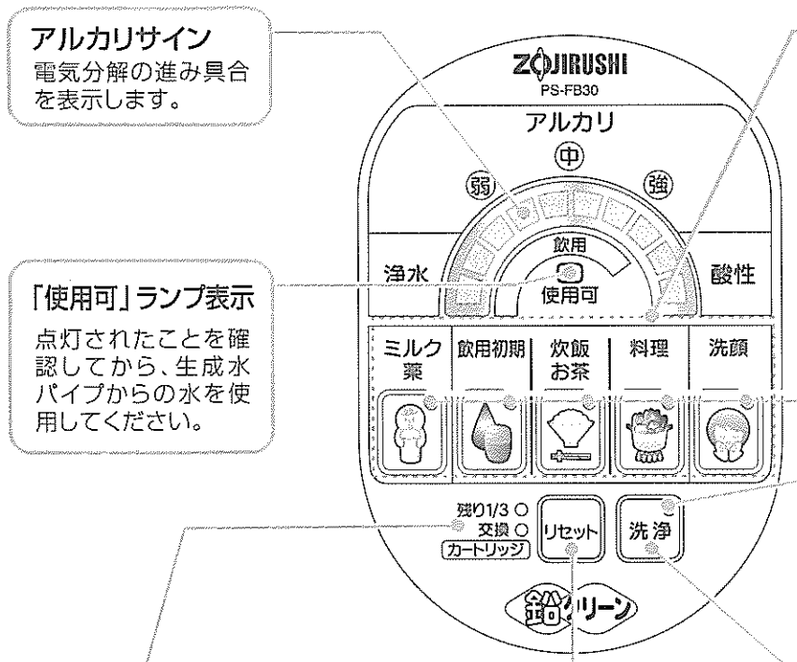
出てくる水の種類	
①生成水パイプ	②排水ホース
アルカリイオン水	酸性水
酸性水	アルカリイオン水
浄水	浄水

※排水ホースから出る水は飲まないでください。





操作パネル



アルカリサイン
電気分解の進み具合を表示します。

モード選択ボタン
お好みの水質を選びます。

「使用可」ランプ表示
点灯されたことを確認してから、生成水パイプからの水を使用してください。

「モード」ランプ表示
ボタンを押して選択すると点灯します。

「洗浄」ランプ表示
電極の洗浄が必要になると「洗浄」ランプが点滅してブザー音と共にお知らせします。洗浄中は点灯します。

カートリッジ交換サイン
通水量に応じて順次点灯・点滅し、交換時期をお知らせします。

「リセット」ボタン
カートリッジ交換後に2秒以上押し、「交換」サインを消します。交換時以外に押さないでください。交換時期が正しく表示されなくなります。

「洗浄」ボタン
通水中に押すと電極洗浄が始まります。
（洗浄中の水は飲まないでください。）

●アルカリイオン水、酸性水のpH値は、地域・水質によっては下記の「pH値の目やす」内に入らないことがあります。これは、水の中に溶けこんでいる炭酸ガスや各種成分の影響によるものです。この場合はpH値を調整してpH測定液で調整後のpH値を確認してください。

選択モード	生成水	pH値の目やす	用途
料理	アルカリ 強	9～10	（煮物、鍋物、汁物など）
炊飯・お茶	アルカリ 中	8.5～9.5	（飲用、料理など）
飲用初期	アルカリ 弱	8～9	（アルカリイオン水を初めて飲むとき）
ミルク・薬	浄水	原水pH値のまま	（赤ちゃんのミルクや薬を服用するときなど）
洗顔	酸性	5～6.5	洗顔後の化粧水として
	排水ホースから出る水	----------	食器などの洗浄（茶しぶとりや魚料理をしたあとのにおいとり）に。絶対に飲まないでください。pH値が調整されていないため、洗顔やアストリンゼントとしても使用しないでください。

各部のなまえとはたらき つづき

切換コックについて

使うことのできる水温は右表のとおりです。
この温度範囲内で使用してください。(故障の原因)

- アルカリイオン水、酸性水、浄水を使用するときは、必ず切換コックのレバーを「浄水」にしてください。

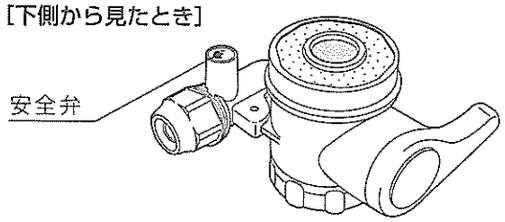
切換レバーの位置	水　温
浄　水	35℃未満
原　水	60℃未満
シャワー(原水)	

使用中、次のような場合は切換コックの「安全弁」から水がでます。

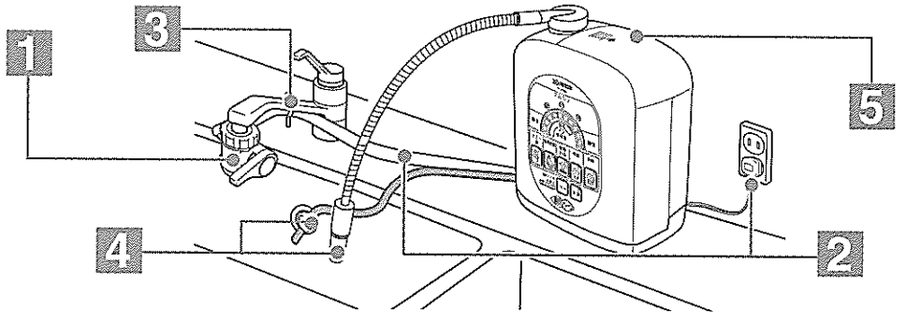
- 水圧が高いところで使用したとき。
- カートリッジや切換コック内のメッシュなどが目づまりしてきたとき。

アルカリイオン水、酸性水、浄水を使用中に「安全弁」より水が噴き出します。
→蛇口を絞って使用してください。

[下側から見たとき]



取りつけ手順



1 切換コックを蛇口に取りつける
(12~17ページ参照)

2 原水ホースと本体を設置し、差込みプラグをコンセントに差し込む
(18~19ページ参照)

3 本体の空気抜きのため約2分間通水する
- 「使用可」ランプが約2分後に点灯します。

(20ページ参照)

4 生成水パイプ、排水ホースから水が出ていることを確認する
(20ページ参照)

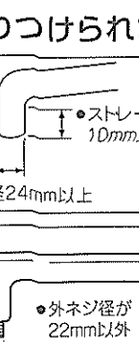
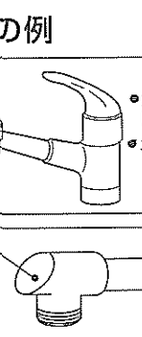
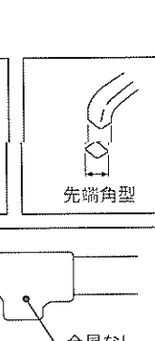
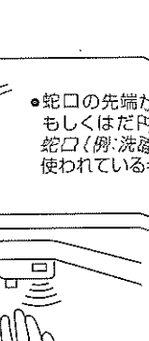
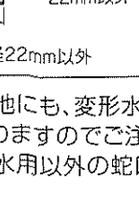
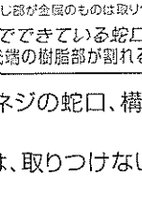
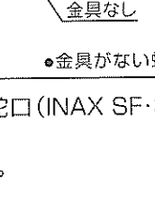
5 カルシウムを添加する
(21ページ参照)

6 pH値を測定する
(22~23ページ参照)

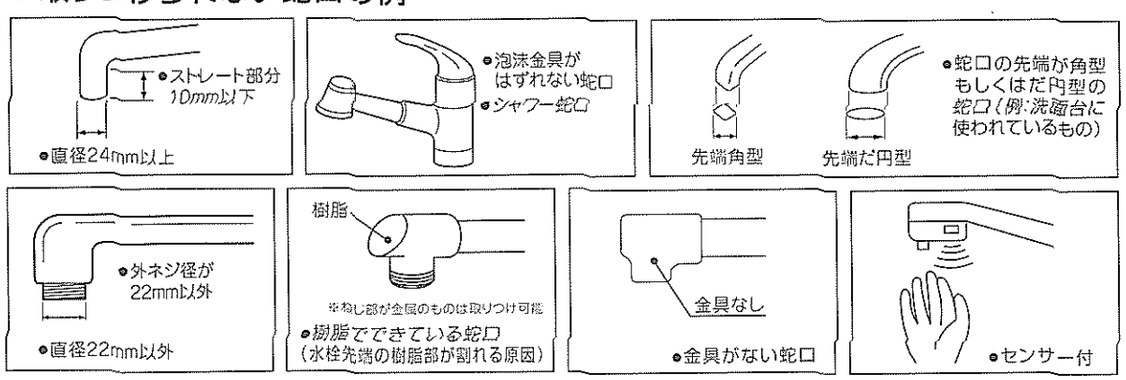
使　う (24~26ページ参照)

1 切換コックを蛇口に取りつける

切換コック取りつけ用付属品(アダプターセット)の内容

Aセット (先のふくらんだ丸型パイプ用)	Bセット (泡沫水栓外ネジ(22mm)用)	Cセット (泡沫水栓内ネジ用)	Dセット (その他の蛇口用)
蛇口リング	泡沫水栓用アダプター(外ネジ)	泡沫水栓用アダプター(内ネジ)	ビス止め用固定リング
白色  16mm用	白色  22mm用 TOTO、INAX製水栓など	白色 Oリングつき  23mm用 KVK製水栓など	ネジ・パッキンつき 
白色  12.5mm用	グレー  22mm用 GROHE、MOEN YANMAR製水栓など	グレー パッキン1枚つき  24mm用 GROHE製水栓など	
白色 19mm用	共通パッキン2種 ※白とグレーはネジ山の形状が異なります。		

●取りつけられない蛇口の例



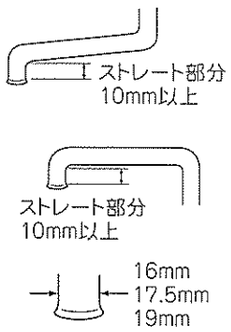
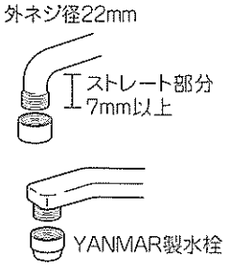
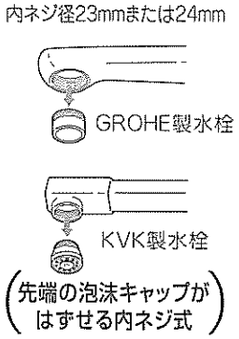
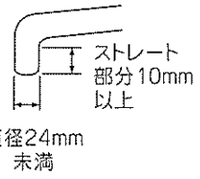
- その他にも、変形水栓や特殊なネジの蛇口、構造が特殊な蛇口(INAX SF-3402S、SF-3335S、その他)がありますのでご注意ください。
- 飲用水用以外の蛇口(水栓)には、取りつけないでください。

1 切換コックを蛇口に取りつける つづき

アダプターセットの選択

蛇口の確認

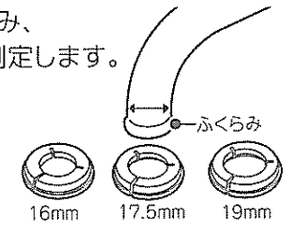
蛇口の形状により、切換コックの取りつけ方法は異なります。蛇口の形状を確認してから、使用するアダプターを選んでください。
使用するアダプターは1種類です。
取りつけに使わないアダプターセットは、蛇口の交換や転居などに備え大切に保管してください。
アダプターセットを使用しても取りつけられない場合は、お買い上げの販売店または、弊社お客様ご相談窓口までお問い合わせください。

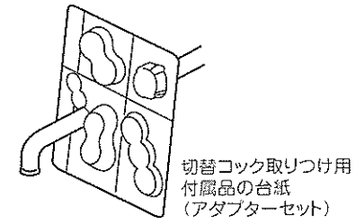
蛇口先端	先のふくらんだ丸型パイプ	泡沫水栓 外ネジ	泡沫水栓 内ネジ	その他の蛇口
形状				
アダプターセット	Aセットを使用 アダプターセットの台紙を使用して、パイプの直径を測定します。	Bセットを使用 ●白 TOTO、INAX製水栓など ●グレー GROHE、MOEN、YANMAR製水栓など	Cセットを使用 ●白 KVK製水栓など ●グレー GROHE製水栓など	Dセットを使用 ●外径16mm、17.5mm、19mm以外の先のふくらんだ丸形パイプ
	14ページをご覧ください。	15ページをご覧ください。	16ページをご覧ください。	17ページをご覧ください。

1 切換コックを蛇口に取りつける

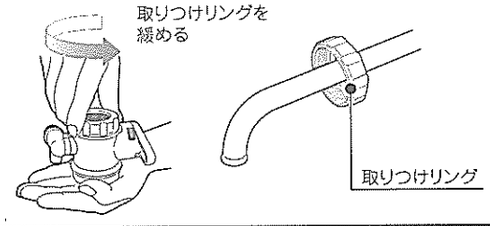
Aセットの取りつけ方

1 アダプターセットの台紙をはめ込み、蛇口のふくらみの上部の直径を測定します。

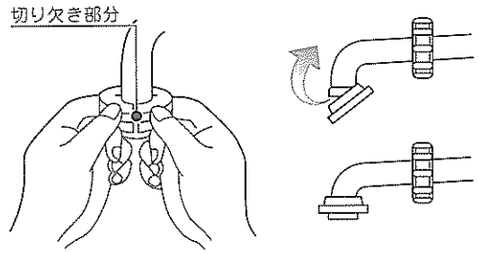




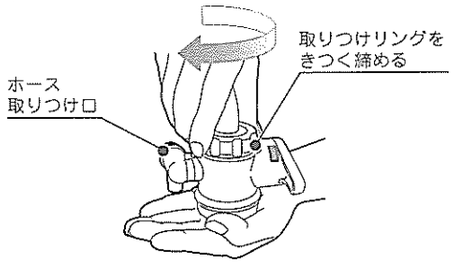
2 切換コックにセットされている取りつけリングを手でゆるめてはずし、蛇口に通します。



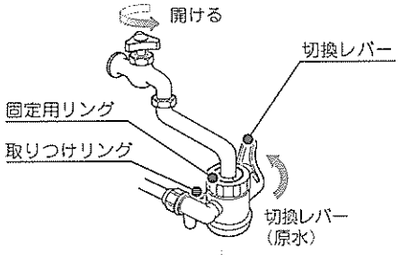
3 蛇口の外径に合わせて「固定用リング」の中から16mm、17.5mmまたは19mmを選んで取りつけます。
図のように、切り欠き部分を手前にし、後ろから斜めに当てて、手前を持ち上げてはめ込みます。はめ込んだ「固定用リング」は蛇口のふくらんだ部分まで押し下げておきます。



4 切換コック本体のゴムパッキン部分を蛇口に水平に当て、取りつけリングを回してしっかり固定します。このとき、ホース取りつけ口が図のように蛇口の後方にくるように固定してください。



5 切換レバーを「原水」にし、蛇口を開け水を流します。水を流したとき、取りつけリング部分からもれるようでしたら、もう一度取りつけリングをゆるめて固定しなおしてください。

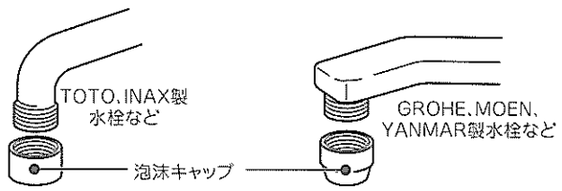


※Aセットを使用してうまく取りつけられない場合は、Dセットをご使用ください。(17ページ参照)

1 切換コックを蛇口に取りつける つづき

Bセットの取りつけ方

1 蛇口先端の泡沫キャップをはずします。

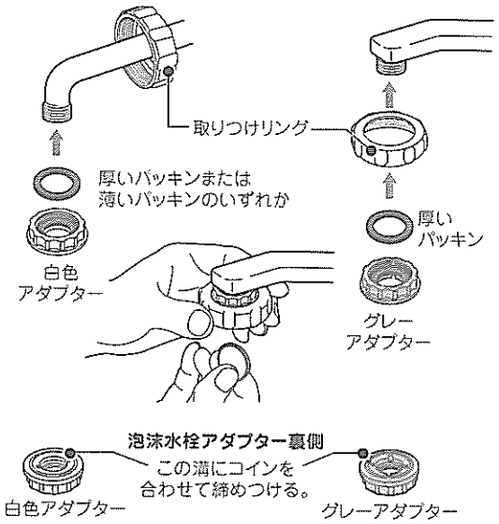


2 切換コックにセットされている取りつけリングをはずします。「泡沫水栓用アダプター」に付属のパッキンを入れ、図のように取りつけます。

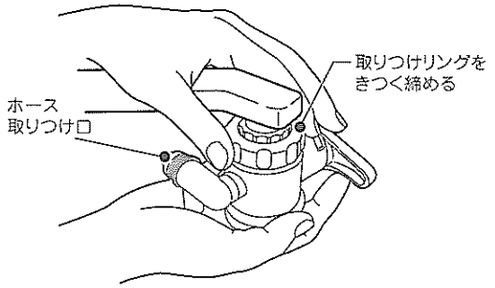
※TOTO製水栓などには白色を、GROHE製水栓などにはグレーをお使いください（ネジ山に合ったアダプターをご使用ください）。

※パッキンは厚いものと薄いものが2種類あります。白色アダプターをご使用の際は、ご自宅の蛇口に合わせて、水もれしないように、いずれかのパッキンを選んでお使いください。

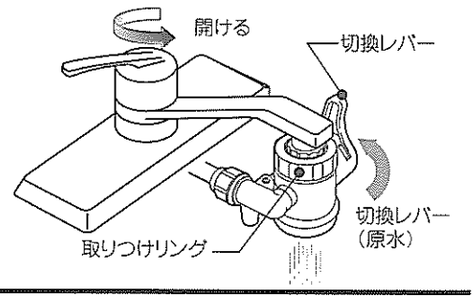
※泡沫水栓アダプターは裏側に溝がありますので、コインなどを利用して確実に締めつけてください。



3 切換コックのゴムパッキン部分を蛇口に水平に当て、取りつけリングを回してしっかり固定します。このとき、ホース取りつけ口が図のように、蛇口の後方にくるように固定してください。



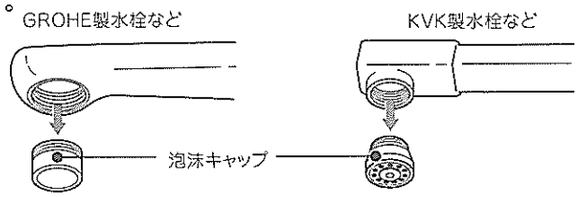
4 切換レバーを「原水」にし、蛇口を開け水を流します。水を流したとき、取りつけリング部分からもれるようでしたら、もう一度、取りつけリングをゆるめて、最初から固定しなおしてください。
（白色アダプターをご使用の場合は、厚みの違うパッキンをお試しください。）



ご注意 蛇口の部分がプラスチック製のものには取りつけられません。

Cセットの取りつけ方

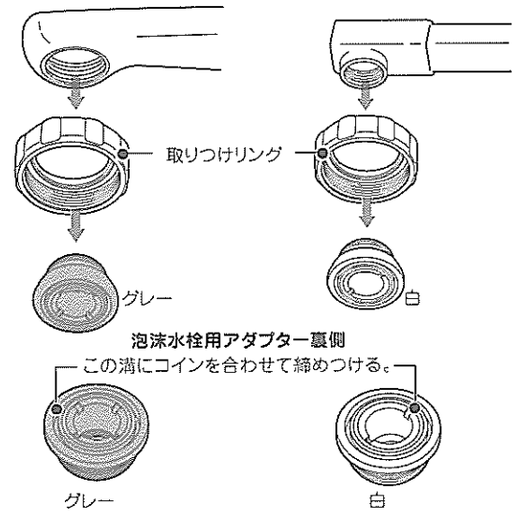
1 蛇口先端の泡沫キャップをはずします。



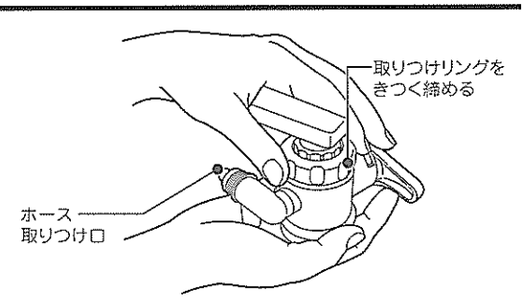
2 切換コックにセットされている取りつけリングをはずし「泡沫水栓用アダプター」と共に図のように取りつけます。

※KVK製水栓などには白色、GROHE製水栓などにはグレーをお使いください。（ネジ山の大きさに合ったアダプターをお使いください。）

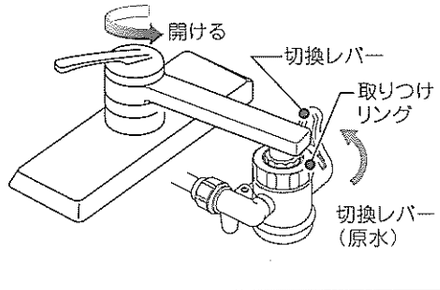
※泡沫水栓用アダプターは裏側に溝がありますので、コインなどを利用して確実に締めつけてください。



3 切換コックのゴムパッキン部分を蛇口に水平に当て、取りつけリングを回してしっかり固定します。このとき、ホース取りつけ口が図のように、蛇口の後方にくるように固定してください。



4 切換レバーを「原水」にし、蛇口を開け水を流します。水を流したとき、取りつけリング部分からもれるようでしたら、もう一度取りつけリングをゆるめて固定しなおしてください。

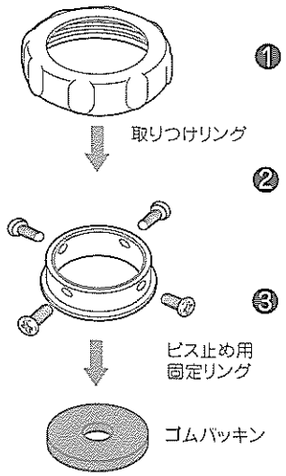


ご注意 蛇口の部分がプラスチック製のものには取りつけられません。

1 切換コックを蛇口に取りつける つづき

Dセットの取りつけ方

1 切換コックにセットされている取りつけリングをはずします。ビス止め用固定リングのネジ（4本）をはずし、取りつけリングにビス止め用固定リングを入れます。



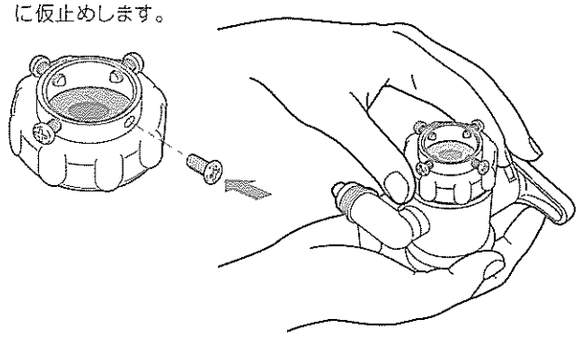
❶ 切換コックにセットされている取りつけリングをはずします。

❷ ビス止め用固定リングのネジをはずします。

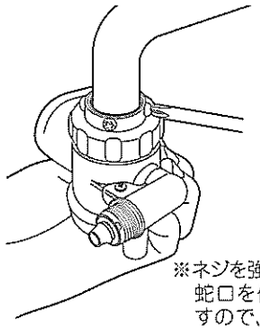
❸ 取りつけリングにビス止め用固定リングを入れます。ゴムパッキンもビス止め用固定リングと共にセットしてください。

❹ ビス止め用固定リングのネジ（4本）をはずれない程度に仮止めします。

❺ これを切換コックにセットし、取りつけリングをかるく回します。

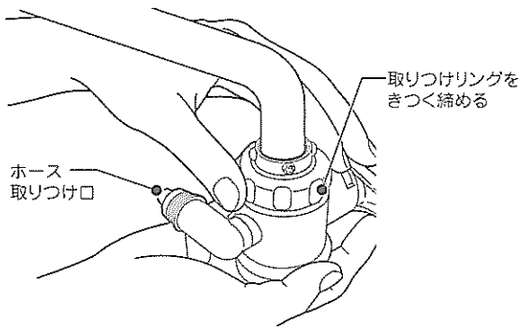


2 蛇口にビス止め用固定リングをはめ、下から切換コック本体を押しつけるように支えます。このときゴムパッキン部分と蛇口先端が接するようにしながら、ネジを4ヶ所締めつけてください。蛇口がビス止め用固定リングの中心になるように固定ネジを均等に締めつけます。



※ネジを強く締めつけすぎると、蛇口を傷める恐れがありますので、ご注意ください。

3 取りつけリングを回してしっかり固定します。このとき、ホース取りつけ口が図のように、蛇口の後方にくるように固定してください。



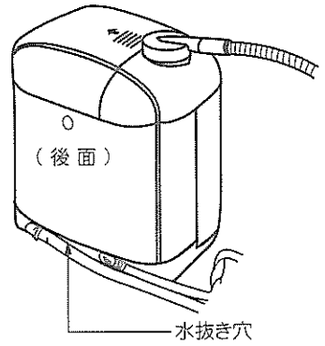
4 切換レバーを「原水」にし、蛇口を開けて水を流します。水を流したとき、取りつけリング部分からもれるようでしたら、もう一度、固定ネジと取りつけリングをゆるめて、最初から固定しなおしてください。

2 原水ホースと本体を設置し 差込みプラグをコンセントに差し込む

1

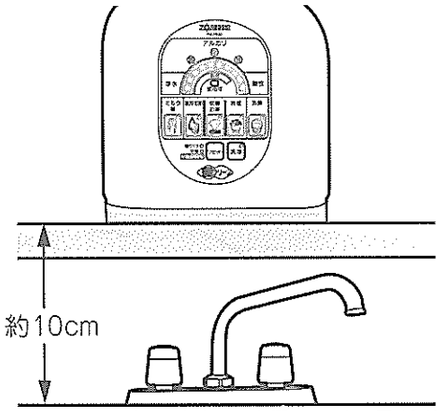
設置場所を決める

- 平らで安定した場所に置いてください。
- カートリッジ交換の際に水抜き穴から水が出ますので設置場所には十分にご注意ください。
- 熱いもののそばに設置しないでください。（特に、温水蛇口付近には注意してください。）
- 本体は直接水のかかる場所（流し台の中など）や特に湿気の多い場所（浴室など）に設置しないでください。
- 直射日光の当たる場所や湿気、ほこりの多いところ、火気の近くでの使用や放置はしないでください。
- 油が付着するところには設置しないでください。
- 凍結の可能性があるところには設置しないでください。
- 湯専用の蛇口には接続しないでください。故障の原因になります。
- 本体は、原水ホース・排水ホースの届く範囲で設置してください。ホースは延長できません。またホースが折れ曲がったり、ねじれたりしないようにしてください。水もれなど故障の原因になります。
- 本体を、蛇口より低い位置、または蛇口より約10cm以上の高さに設置した場合、極端に水の出方が悪くなったり、目やすのpH値のイオン水を生成できないことがあります。



設置例

- 本体は、蛇口より下には設置しないでください。
- 本体は、蛇口より約10cm以内の高さを目やすに設置してください。

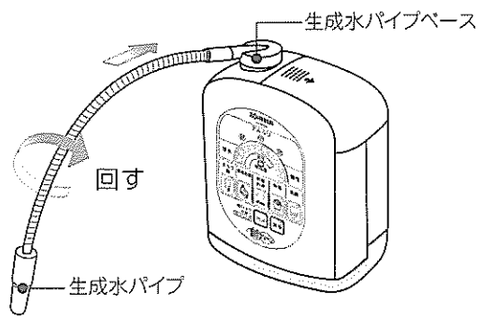


※10cm以内の高さに設置しても、最低使用可能水圧（0.07MPa）未満のご家庭ではイオン水を生成できません。

2

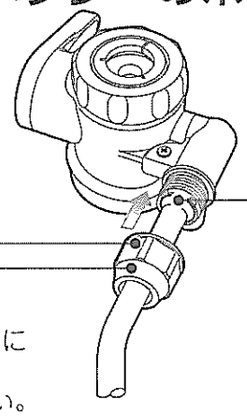
生成水パイプを取りつける

- 生成水パイプを生成水パイプベースに押しつけながら右にまわします。接続部のすき間がなくなるまでしっかり締めつけてください。（工具は使わないでください。破損の原因になります。）



2 原水ホースと本体を設置し差込みプラグをコンセントに差し込む つづき

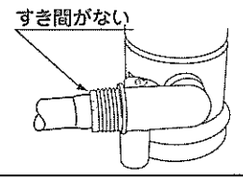
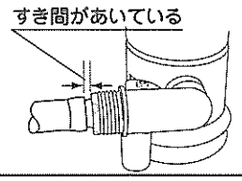
3 原水ホース（薄いグレーのホース）を接続する



❶ホース接続ナットを切換コックからはずし、原水ホース（薄いグレーのホース）に通す。

❷原水ホースを奥まで確実に差し込む。

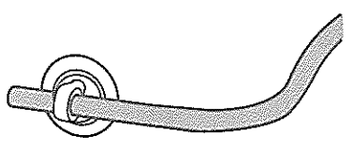
❸ホース接続ナットで確実に締めつける。
- 工具を使わないでください。
（ホース接続ナットの破損の原因になります。）

良い例	悪い例
	
すき間がない	すき間があいている

お知らせ ●ホースが長すぎる場合は、ホースを切って使用することをおすすめします。
（切るときはまっすぐ切ってください。）

4 排水ホース（濃いグレーのホース）を吸盤で固定する

- 排水ホース固定用吸盤に排水ホースを通し、ホースが折れ曲がらないように固定します。
- 排水ホースの先端は必ず本体底面より下になるようにしてください。



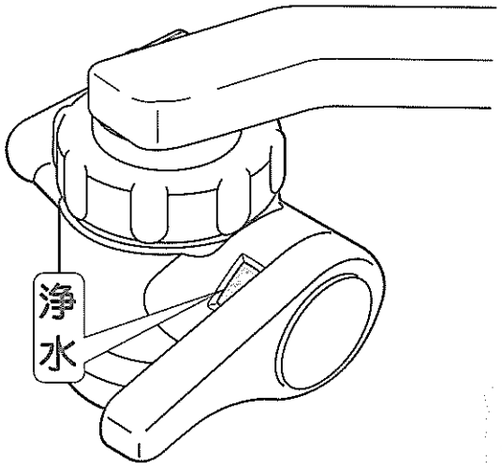
5 コンセントに差込みプラグを確実に差し込む

- 「モード」ランプは「飲用初期」が点灯します。

お願い ●通常は差込みプラグを抜かないでください。

ご注意 ●差込みプラグのコンセントの抜き差しや、ボタン操作はぬれた手で行わないでください。

3 本体の空気抜きのため約2分間通水する

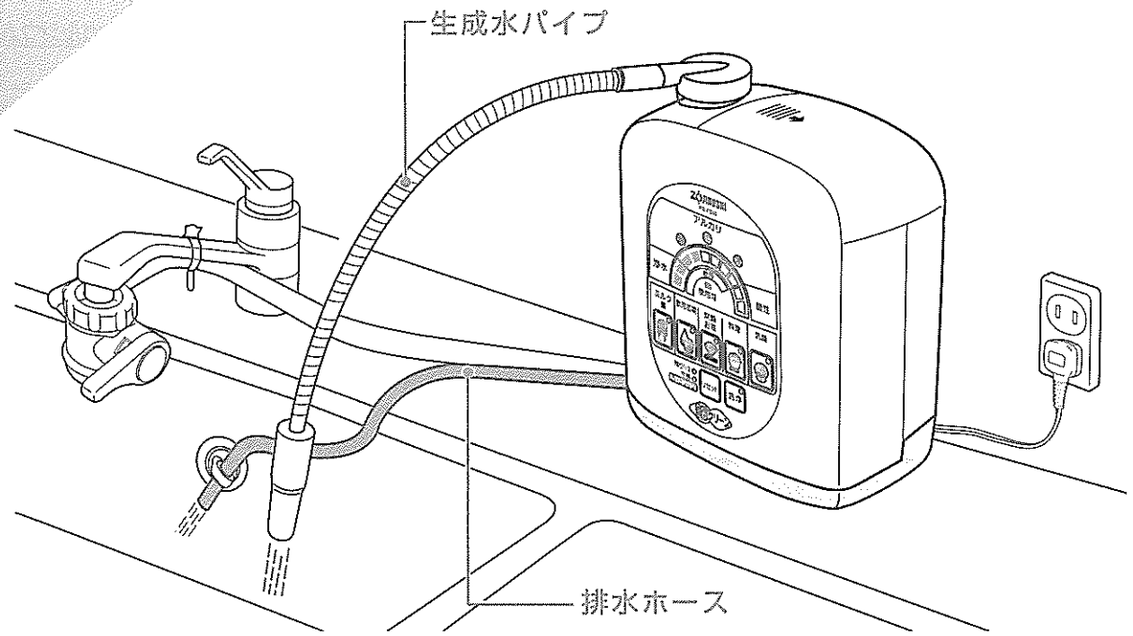


- 切換レバーを「浄水」にします。
- 初めてお使いになるときは、蛇口を開け、パネル表示に「使用可」ランプが点灯するまで約2分間通水します。
（最初小さな気泡が出ますが異常ではありません。）

ご注意

本体には35℃以上の温・熱水を通さないでください。
故障の原因になります。

4 生成水パイプ、排水ホースから水が出ていることを確認する



- 各操作ボタンが正常に動くか確認してください。

5 カルシウムを添加する

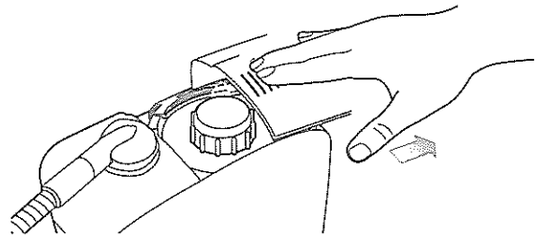
カルシウムの入れ方

カルシウムは電気分解を促進するために使用します。（カルシウムの摂取を目的としたものではありません。）添加は必ず水道の蛇口を閉めてから行ってください。
（カルシウムとは、指定のグリセロリン酸カルシウムのことです。）

1 蛇口を閉める

2 トップカバーをはずす

矢印の方向にスライドさせてください。



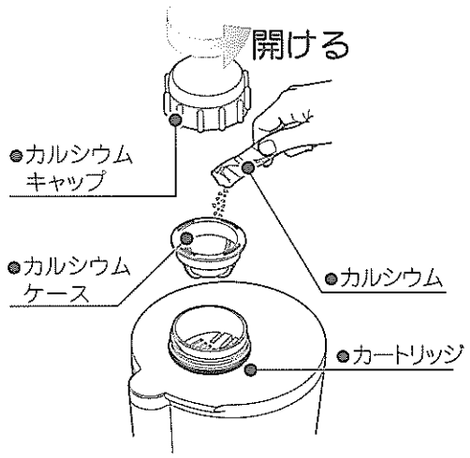
3 カルシウムキャップを開ける

矢印の方向に回してください。

4 カルシウム1袋（3g）を入れる

袋をハサミで切り、カルシウムケース（ネット状）にこぼれないようにゆっくりと直接入れてください。

※2袋以上入れないでください。カルシウムが溶けにくくなります。



5 カルシウムキャップを元どおり取りつけ、トップカバーを閉める

矢印と逆方向に回して取りつけます。（カルシウムキャップをはずしたまま通水すると水があふれ出ますのでご注意ください。）

※指定のカルシウム（グリセロリン酸カルシウム）以外のものは添加しないでください。
※ときどき（2週間に1度）点検し、カルシウムがなくなっている場合は、補充してください。
※補充の際にカルシウムケースにカルシウムが残っている場合はきれいに取り除いてください。カルシウムがどろっとした状態で残っている場合は、水を掛けながら、はしなどを使って取り除いてください。
その際、カルシウムケースの網を破らないように注意してください。
※長期間（約10日以上）使用しないときは、残っているカルシウムをきれいに取り除いてください。
※カルシウムの溶け具合は、水質・水温・水量により変化します。

6 pH値を測定する

pH値の測り方

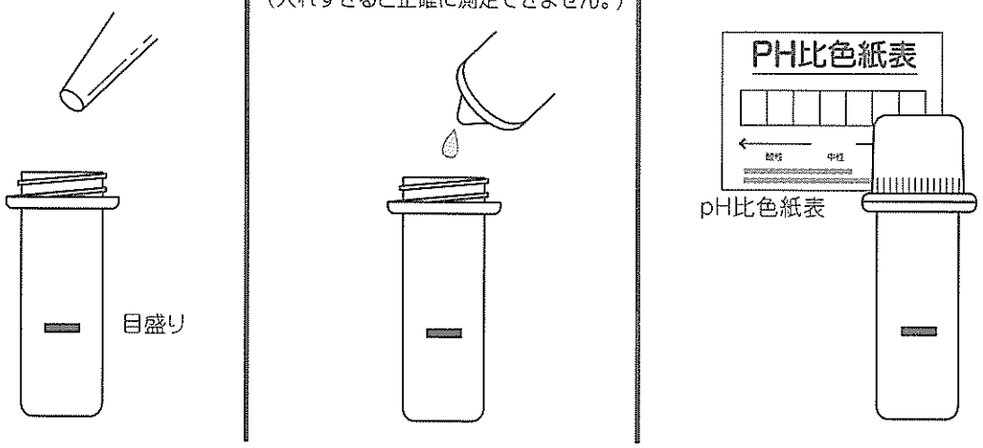
地域・水質によっては、pH10以上のアルカリイオン水が生成されることもあります。pH10を超えたアルカリイオン水を常時飲用しないために、設置後は必ずpH値を測ってください。
安定したpH値を測るため、イオン水は「使用可」ランプが点灯して10秒以上流してから専用容器に取ってください。

1 イオン水を目盛まで入れる

2 pH測定液を1滴入れ、フタを閉めてふる

（入れすぎると正確に測定できません。）

3 pH比色紙表と比較する



【pH値が10を超える測定結果が出た場合】
pH値の低いモード選択ボタンを選ぶか（10ページ参照）、電解促進モードでお使いの場合は水量を増やして（23ページ参照）pH値が10を超えていないことを確認してからお使いください。

※pH値の測定は水をくんだ直後に行い、時間が経過してからの測定は避けてください。
※時間が経過すると試験水の色が変化します。pH測定液を入れたらすぐにpH比色紙表と比較してください。
※pH比色紙表は光により色あせすることがありますので、専用容器、pH測定液と共に袋に入れ、容器、箱、冷暗所など、光をさえぎるものの中で保管してください。
※通常水道水（原水）はpH7前後の中性ですので、電気分解を行わない浄水も中性です。ただし、地域や季節によっては中性（pH7）ではない場合もあります。
※pH値の測定に使用したイオン水は飲まないでください。
※pH測定液は目に入れたり、飲んだりしないでください。万一、目に入った場合は、すぐに水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
※pH測定液は、必ずふたを閉めて幼児の手の届かない冷暗所に保管してください。
※pH測定液はアルコール類が含まれておりますので火気に近づけないでください。

6 pH値を測定する つづき

アルカリイオン水のpH値が低い

井戸水などをご利用の地域や原水中に遊離炭酸（水中に溶けている炭酸ガス。水源に地下水を含んでいる水道水に多い。）を多く含んでいる場合は、アルカリイオン水のpH値が目やすに対して低くなることがあります。
この場合は次の「電解促進モード」でpH値を調整してご使用ください。

※調整できるモードは右記の通りです。

選択モード	生成水	pH値の調整	水量をしぼる	水量を増やす
料理	アルカリ 強	できます	pH上がる	pH下がる
炊飯・お茶	アルカリ 中	できます	pH上がる	pH下がる
飲用初期	アルカリ 弱	できます	pH上がる	pH下がる
ミルク・薬	浄水	できません	——	——
洗顔	酸性	できます	pH下がる	pH上がる
	排水ホースから出る水	できません	——	——

電解促進モード

1 モード選択ボタンの「料理」を蛇口を閉じた状態（通水しない状態）で2秒以上押す。

2 「ピッピッ」と2回ブザーが鳴ります。
これで「電解促進モード」に切りかわります。
「料理」ランプが点灯します。

3 一度「電解促進モード」に切りかえると、その後は、蛇口の開き具合で水量を調節する（水量をしぼる）ことによって高いpH値のアルカリイオン水（低いpH値の酸性水）を得ることができます。pH測定液で確認しながら、お好みのpH値になるように水量を調節してください。

※差込みプラグをコンセントから抜き、再び差し込むと、「電解促進モード」は解除されます。
※「電解促進モード」に切りかえた後、飲用初期や炊飯、お茶を選んでも、蛇口の開き具合を調整し、水量をしぼることによって以前より高いpH値のアルカリイオン水を得ることができます。
※pH10を超えたアルカリイオン水は飲まないでください。

正しい使い方

アルカリイオン水を使う

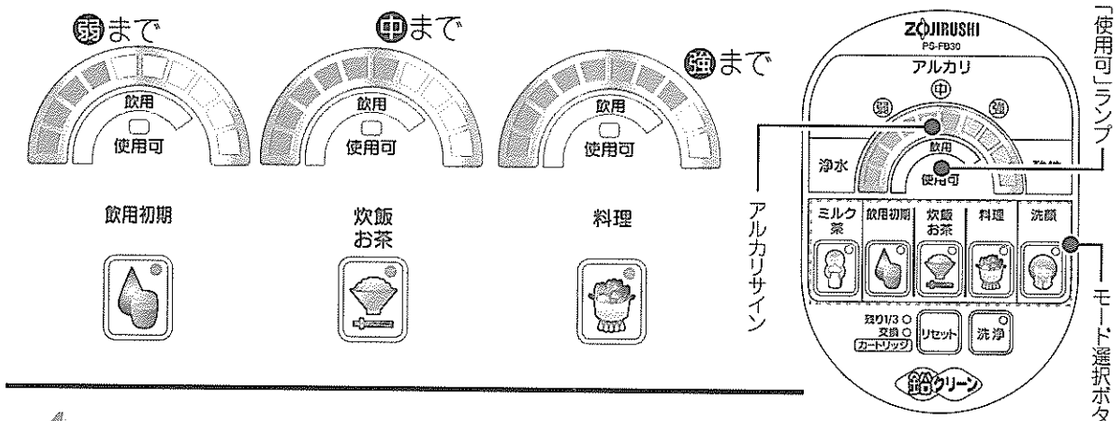
1 切換コックを「浄水」に切りかえる

2 お好みのモード選択ボタンを押す

- 「ピッ」と鳴る。
- 選んだ「モード」ランプが点灯する。

3 蛇口を開く

- アルカリサインが選んだモードによって、左端から順次点灯する。

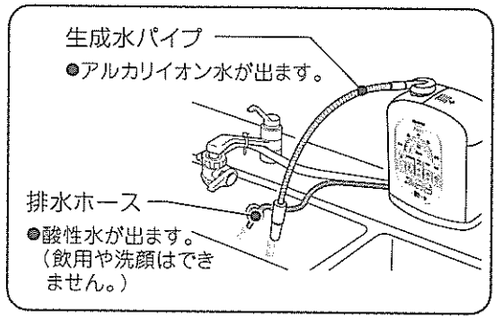


4 「使用可」ランプが点灯したら使う

- 前回使用した際に本体やホース内に残ってしまった水を捨てるため、「使用可」ランプが点灯するのを待ってアルカリイオン水をお使いください。
- 通水開始から「使用可」ランプが点灯するまでの時間は、最後にご使用になったときからの経過時間により下記の通り異なります。

ご使用にならなかった時間	「使用可」ランプ点灯までの時間の目やす
10時間未満	約2～5秒
10時間以上～24時間未満	約12秒
24時間以上～48時間未満	約1分
48時間以上または初めてお使いのとき	約2分

- 10分間続けて生成すると、本体保護のため（本体内の温度が上がるため）に自動的に「ミルク・薬」（浄水）モードに切りかわります。

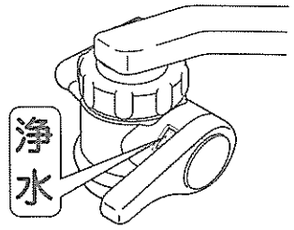


ご注意
- 本体に通水しない状態が5分以上続くと、「モード」ランプは消灯します。次回ご使用の際に、いずれかのモード選択ボタンを押すか、本体に通水することによって再びランプが点灯します。
- 水道水の水質によっては、まれにアルカリサインが最後まで点灯しないことがありますが故障ではありません。「使用可」ランプが点灯したらお使いください。

正しい使い方 つづき

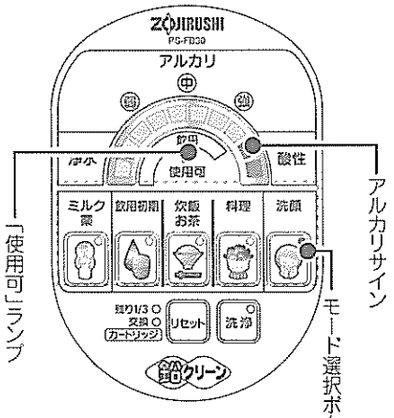
酸性水を使う

1 切換コックを「浄水」に切りかえる



2 「洗顔」（酸性）ボタンを押す

- 「ピッ」と鳴る
- 「モード」ランプが点灯する。



3 蛇口を開く（ブザーが鳴り続ける）

- アルカリサインが右端から2つ点灯する。
  誤飲を防ぐため、警告のブザーが鳴り続けます。

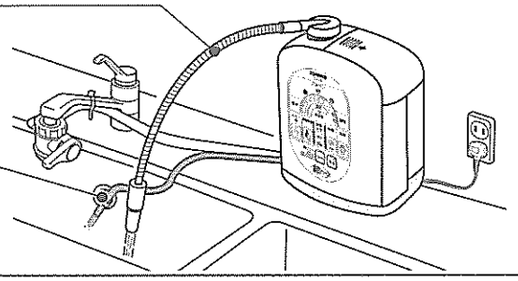
※酸性水は絶対に飲まないでください。

4 「使用可」ランプが点灯したら使う

- 蛇口を閉じると、次回使用時の酸性水の誤飲を防ぐため、モード設定は自動的に「飲用初期」になります。10分間続けて生成すると、本体保護のために（本体の温度が上がるため）自動的に「ミルク・薬」（浄水）モードに切りかわります。（26ページ参照）

生成水パイプ
- 酸性水が出ます。

排水ホース
- アルカリイオン水が出ます。
- このアルカリイオン水はpH値が調整されていないため飲用は出来ません。

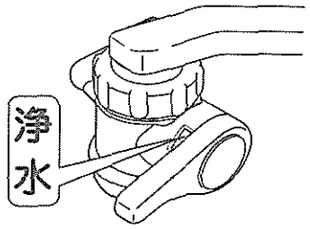


ご注意
- 本体に通水しない状態が5分以上続くと、「モード」ランプ表示は消灯します。次回ご使用の際に、いずれかのモード選択ボタンを押すか、本体に通水することによって再びランプが点灯します。
- 水道水の水質によっては、まれにアルカリサインが最後まで点灯しないことがありますが故障ではありません。「使用可」ランプが点灯したらお使いください。

浄水を使う

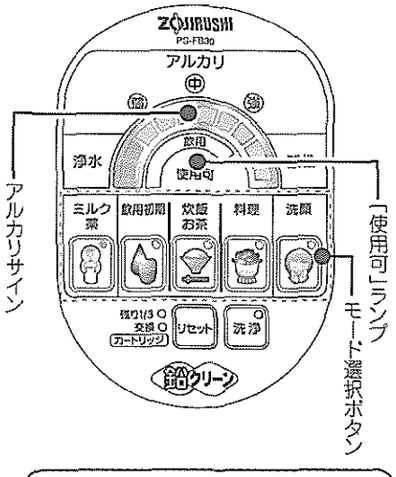
※「浄水」とはカートリッジを通してろ過された水です。
電気分解されていません。

1 切換コックを「浄水」に切りかえる



2 「ミルク・薬」（浄水）ボタンを押す

- 「ピッ」と鳴る
- 「モード」ランプが点灯する。

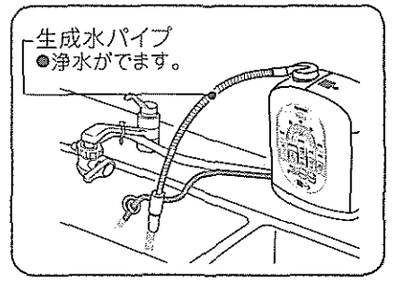


3 蛇口を開く

- アルカリサインが左端から2つ点灯する。

4 「使用可」ランプが点灯したら使う

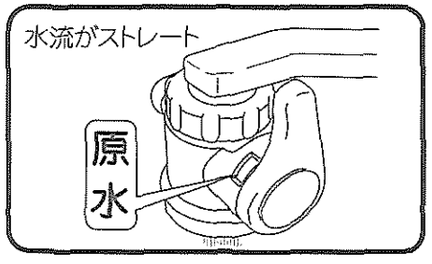
※「使用可」ランプが点灯するまでの時間の目やすは24ページをご参照ください。

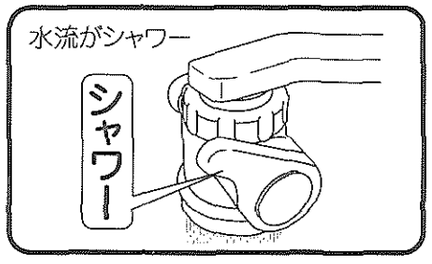


ご注意 本体に通水しない状態が5分以上続くと、「モード」ランプは消灯します。
次回ご使用の際に、いずれかのモード選択ボタンを押すか、本体に通水することによって再び点灯します。

水道水そのままの水（原水）を使う

切換コックのレバーを「原水」または「シャワー」に切りかえます。



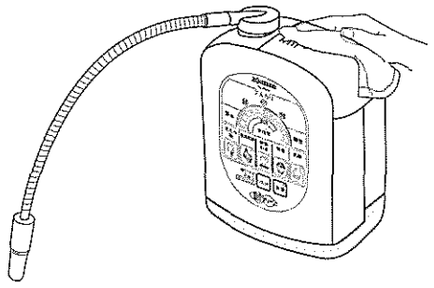


お知らせ
水道水（原水）をお使いの場合でも切換コックには、60℃以上の熱水は通さないでください。（故障の原因）

お手入れ

本体のお手入れの際のご注意

- 柔らかい布に水を含ませ、かたくしぼってからふいてください。
- 洗剤・クレンザー・シンナー・ベンジン・アルコール・灯油などは使わないでください。（洗剤などが飲用水に混ざったり、割れや変色の原因になります。）
- 金属製のブラシなどは使わないでください。（傷の原因になります。）

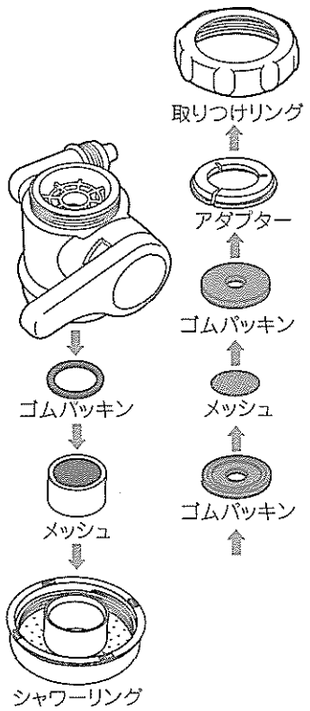


切換コック取りつけ口（給水口）のお手入れ

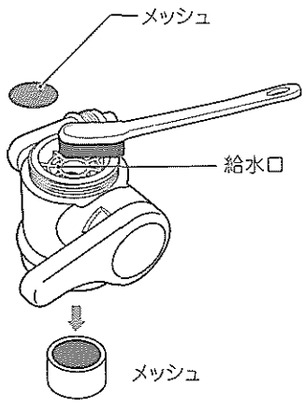
長期間ご使用いただきますと、切換コック給水口のメッシュにごみなどがたまり、目づまりをおこすことがありますので、下記の要領で分解して、水洗いしてください。

※分解する際に、各部品をなくさないよう、気をつけてください。

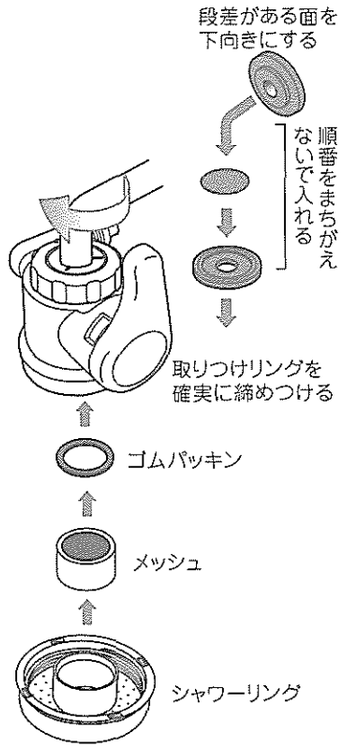
1 取りつけリングをゆるめ切換コックをはずし、メッシュを取り出す



2 メッシュと給水口を洗う



3 切換コックを元どおりに取りつける

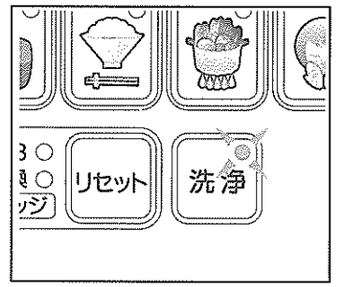


洗浄運転について

電解槽の生成機能維持のために定期的な本体内部の洗浄が必要です。

■洗浄の時期

お使いいただくうちに、電解槽にカルシウムがたまるため、定期的な洗浄運転が必要となります。イオン水の生成量が、洗浄が必要な量に達すると自動的に、「洗浄」ランプが点滅して、ブザーを鳴らしてお知らせします。
（1日8分間使用した場合、洗浄時期は約半年後が目やすです。）



■洗浄方法

1. アルカリイオン水、酸性水または浄水を生成中に「洗浄」ボタンを押します。（いずれかを生成中でないと、洗浄ボタンは受けつけません。）
2. 「洗浄」ランプが点灯し、ブザーが鳴り続けます。
3. 2分後、自動的に洗浄が終了し、「ミルク・薬」（浄水）モードに移ります。

※洗浄中に生成水パイプや排水ホースから出てくる水は飲まないでください。
※蛇口を閉じるか、またはモード選択ボタンのいずれかを押すと洗浄が中止されます。

長期間使用しないときは

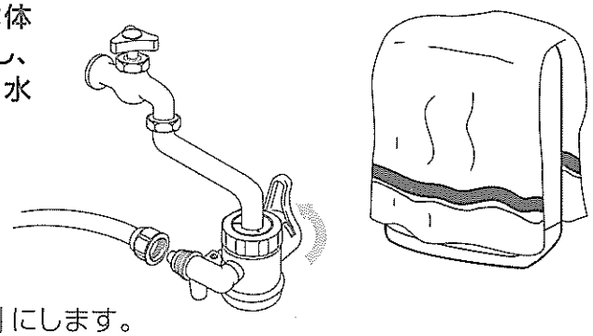
長期間使用しないとき、そのまま放置しますと、アルカリイオン水や浄水の味が悪くなる（カビ臭くなるなど）ことがあります。長期間使用しないときは、次の方法でお手入れをしてから、本器を保管してください。

1. 差込みプラグをコンセントから抜きます。
2. 切換コックを蛇口と原水ホースからはずし、27ページの〈切換コック取りつけ口のお手入れ〉に従って分解し水洗いします。
3. カルシウムケースを取り出し、きれいに水洗いして乾燥させ、カートリッジ本体に取りつけます。
4. 本体とカートリッジは、水切りなどをしてから湿気の少ないところに保管してください。（水抜きは30ページ参照）
5. 長期間使用しなかった後、再び使用する場合は、正常かつ安全に作動することをお確かめください。

お手入れ つづき

凍結防止について

寒冷地で水道が凍結する時期は、本体や原水ホースに滞留している水が凍結し、破損することがありますので夜間は水抜きを行ってください。



① 切換コックの切換レバーを「原水」にします。
② 原水ホースを切換コックからはずし、本体より低い位置に置いて水抜きします。（水抜きは30ページ参照）
③ 本体をタオルなどで保温するか、暖かい場所に置きます。

停電・断水したときは

■停　電

- 復旧・通電後、初期状態に戻りますので、正しい使い方（24～26ページ）に従って操作してください。
- 使用中に停電したときは、蛇口を閉めてください。（停電中で電気分解されないため、通水すると「浄水」が出ます。）

■断　水

- 使用中に断水したときは、すぐに蛇口を閉めてください。
- 断水復旧後に使用されるときは、まず切換コックを「原水」または「シャワー」にして水道水（原水）を流し、空気やにごりが出なくなってからご使用ください。その後は通常どおりに使用されても問題はありません。

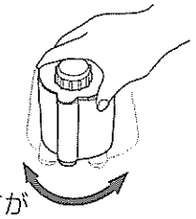
本体の水抜きをするときは

転居などで本体を移動する場合は、輸送時に水もれすることがありますので、事前に本体の水抜きをしてください。

1 差込みプラグを抜きます

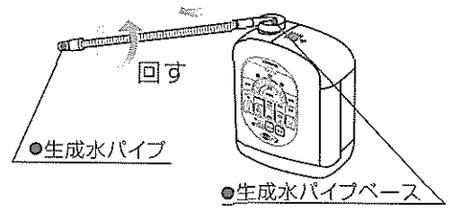
2 カートリッジ押さえをはずし、カートリッジを取り出し、カートリッジ内部に溜まっている水を左右に傾けてこぼれなくなる程度に抜きます（完全に抜ききる必要はありません）

- カートリッジを取り出すときは、まっすぐ引き抜いてください。傾けると残留水がこぼれますのでご注意ください。
- また、カルシウムケース内にカルシウムが残っている場合はきれいに洗い流します。
- 長期間保管するときは、カートリッジを清潔なビニール袋などに入れ冷暗所で保管してください。
- 内部の水を抜いたあと、再び使用する際に水量が低下することがありますがしばらく通水すると回復します。



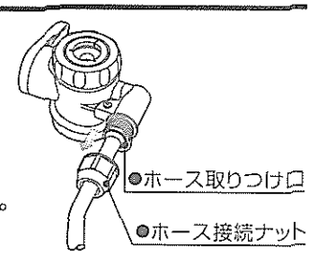
3 生成水パイプをはずします

- 生成水パイプはまっすぐにのばしてから回してください。破損の原因になります。



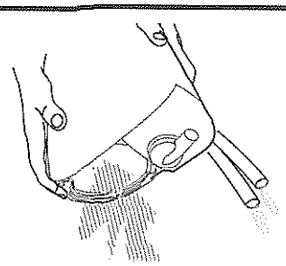
4 原水ホースを切換コックから抜きます

- このとき、ホース取りつけ口がはずれることがありますが、切換コックにもどし、ホース接続ナットを取りつけてください。



5 本体を逆さまにして内部の水を抜きます

- この時、逆さまの状態で本体の角度をかえると水が抜けやすくなります。また、ホースを下に垂らして、ホース内の水も抜いてください。



※本体内の水を完全に抜くことは難しいので、製品を移動させるときは水がこぼれないようにご注意ください。

お手入れ つづき

カートリッジの交換

■交 換 時 期

通水された積算流量に応じ、交換サインが2段階で表示されます。

カートリッジの寿命は11,000ℓに達した時点です。

●積算流量が約7,300ℓに達した時「残り1/3」が点灯します。

●積算流量が11,000ℓに達した時「交換」が点滅します。

※差込みプラグを抜いても積算流量は記憶しています。

※交換サインは流量による目やすです。カートリッジの実際の寿命は原水の水質に左右されます。イオン水または浄水の出が悪くなったり、カルキ臭・カビ臭がしたときは、交換サインの点灯にかかわらず、カートリッジを交換してください。

※カートリッジの実際の寿命は、次の場合、大幅に短くなることがあります。

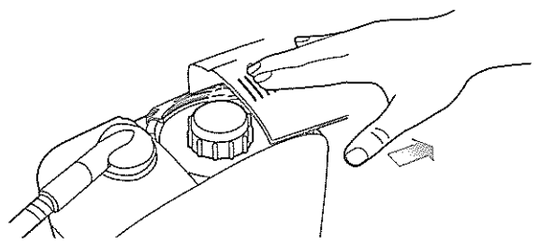
- 配管が古くて、赤水（鉄サビなど）が出る場合
- 短期間に多くの水中の微粒子（にごりや、目に見えない目づまりしやすい成分）が除去されたとき

※交換時期の目やす
使用水量15L/日で約2年（使用水量30L/日で約1年）

■交 換 方 法

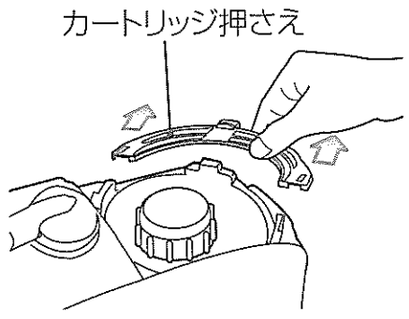
1 トップカバーをはずす

●矢印の方向にスライドさせてください。



2 カートリッジ押さえをはずす

●矢印の方向にまっすぐ引いてください。
（上方向に力を加えないでください。
破損の原因になります。）



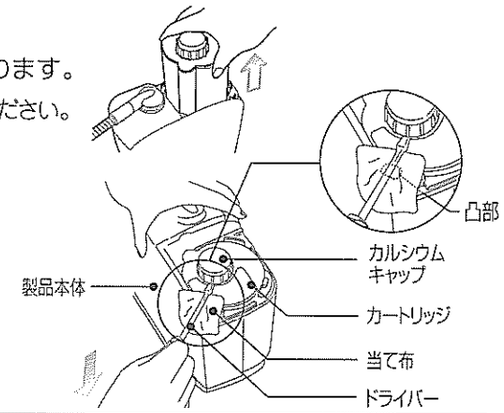
3 カートリッジを取り出す

●図のように親指をかけると取り出しやすくなります。

※カートリッジを取り出すときは、まっすぐ引き抜いてください。
傾けると残留水がこぼれますのでご注意ください。

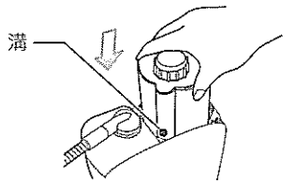
カートリッジが取りはずしにくい場合

カルシウムキャップを半回転させ、マイナスドライバーを右図のようにカルシウムキャップとカートリッジの間に差し込み、凸部を支点として矢印の方向に押し下げてください。
※凸部に布を当て、マイナスドライバーで本体にキズをつけないようにご注意ください。



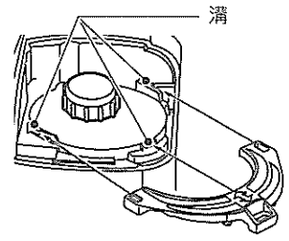
4 新しいカートリッジをセットする

●本体の溝に合わせて、しっかり押し込んでください。



5 カートリッジ押さえをセットする

●本体の溝（3ヶ所）に合わせて「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
●カートリッジ押さえをセットしないで通水すると、水もれしますのでご注意ください。
セットしにくい場合は、カートリッジがしっかり奥まで押し込まれているかご確認ください。



6 トップカバーをセットする

●本体の溝に合わせてスライドさせ、「カチッ」と音がするまで押してください。
●トップカバーがうまくセットできない場合は、カートリッジ押さえが正しくセットされているかご確認ください。

7 リセットボタンを2秒以上押す

●カートリッジ交換サインは消え、初期状態になります。

8 切換コックを浄水にして、蛇口を開き2～3分間水を流し、カートリッジ内の空気抜きをします

●最初小さな気泡が出ます。
●カートリッジが新しいとき（約1週間）は、アルカリイオン水のpH値がやや高くなることがありますが、異常ではありません。

Q&A（ご質問にお答えします）

	Q（質　問）	A（質問のお答え）
アルカリイオン水について	アルカリイオン水をコップに注いだ時、白い泡がつきましたが？（白っぽいのですが？）	問題はありません。 泡は電気分解の時に発生したか、本体内の空気が混ざったものです。
	アルカリイオン水をよく見ると、キラキラ光っているものがあるのですが？	水分中に溶けているミネラル分で、飲んでも問題はありません。 地域・水質によっては、ミネラルを豊富に含む水道水もあり、そのミネラル分が析出されて光っているのです。 もし、気になる場合は、アルカリ度を弱くしてお使いください。 また、茶褐色のものが見られるときもありますが、これは水中に微量に含まれる鉄分です。問題はありませんがアルカリ度を弱くすれば改善されます。
	アルカリイオン水をわかすとやかんなどの容器に白い粉がつくのですが？	水分中のカルシウムが付着したもので問題はありません。 洗っても落ちない場合は、食酢を4～5倍に薄めた水を入れてわかすとカルシウムが除去できます。
	アルカリイオン水でご飯を炊いたら、やわらかく炊きあがったのですが？	米の種類や炊飯器の違いでベチャッとした感じに炊きあがることがあります。 ご飯は主成分であるデンプンの性質によって独特の粘りを出しているのですが、アルカリ性に反応し、粘りが少なくなります。 そのために、柔らかめに炊きあがることがあるのです。 「アルカリ 中 」での炊飯をおすすめします。 さらに気になる場合は、「アルカリ 弱 」か「浄水」で炊飯してください。
	アルカリイオン水でご飯を炊いたら、黄色っぽいご飯になったのですが？	問題はありません。 米に含まれる成分がアルカリと反応し、黄色く変化したものであり、ご飯そのものには全く問題はありません。 気になる場合は、「アルカリ 弱 」か「浄水」で炊飯してください。
	赤ちゃんのミルクに、アルカリイオン水を使ってもかまわないのですが？	赤ちゃんや乳幼児の飲用には「浄水」をご使用ください。

	Q（質　問）	A（質問のお答え）
アルカリイオン水について	薬を服用するときにもアルカリイオン水で飲んでいいのですか？	薬の服用時は浄水でお飲みください。
	アルカリイオン水は氷にして使用してもかまわないのですか？	氷にしても使えます。 ただし、カートリッジで残留塩素を除去しているため、自動製氷機能付きの冷蔵庫で水タンクにくみ置きする場合は2日以内で交換するようにしてください。
	アルカリイオン水はすぐ飲んだり料理に使ったりしなければならないのですか？	24時間以内にお使いください。 浄水も含めアルカリイオン水はカートリッジで水道水中の残留塩素（カルキ臭のもと）を除去しているため、抗菌力はありません。 そのため、細菌が増えやすくなっています。 冷蔵庫で保存される場合でも2日以内にお使いください。
	アルカリイオン水使用中に、排水ホースから出る酸性水のpHはどの程度ですか？	排水ホースから出る排水のpH値は以下の通りです。 モード選択 / 排　水 アルカリ 強 / pH3.5前後 アルカリ 中 / pH5.0前後 アルカリ 弱 / pH6.5前後 酸性水 / pH11前後
カルシウムについて	なぜカルシウム（グリセロリン酸カルシウム）を添加するのですか？	水を電気分解しやすくするために（促進剤として）添加しています。 カルシウムの摂取を目的としたものではありません。
	アルカリイオン水中のカルシウム濃度は水道水に比べてどの程度ですか？	カルシウムを添加するので、アルカリイオン水には水道水の約1.3倍以上のカルシウムが含まれています。 また、水道水に含まれるミネラル分（カルシウム、マグネシウムなど）の量は地域によって大きく異なります。
	グリセロリン酸カルシウムとはどういうものですか？	グリセロリン酸カルシウムは、食品添加物として認められている安全なものです。 主にカルシウムの栄養強化剤として使用されているもので、保存期間は2年です。 ※グリセロリン酸カルシウムの包材に「使用基準」が記載されていますが、これは食品添加物として記載が義務づけられているためです。

Q&A つづき

	Q（質　問）	A（質問のお答え）
酸性水について	間違って、酸性水を飲んでしまったのですが大丈夫でしょうか?	少量（コップ1杯程度）であれば大丈夫です。
酸性水について	酸性水からプールの消毒薬のようなにおいがしますが、大丈夫ですか?	大丈夫です。電気分解により、水中の塩素が酸性水に集まります。その時、プールのにおいと同じ次亜塩素酸が発生するため、においことがあります。
浄水機能について	カートリッジ「交換」サインが点灯しなければ何年でも交換しなくてよいのですか?	交換サインの点灯の時期は、水量で検出しています。使用水量（使用ひん度）により、点灯時期には大きな差があります。また交換サインが点灯していなくても水質によっては、水の出が悪くなったりカルキ臭がすることがあります。そのときはカートリッジを交換してください。
その他	地下水や井戸水にも使用できますか?	使用できない場合があります。地域や水質によっては、目やすのpH値が得られないことがあります。地下水を水源とした地域では、設置前にご確認ください。
その他	電源コードは差し込んだままでよいのですか?	イオン水を使用の度に、差込みプラグを抜き差しする必要はありません。 しかし、回路にはわずかですが電流は流れているので、電気代が気になる場合は差込みプラグを抜いてください。差込みプラグを抜いても積算通水量は記憶しています。（ただし、次にお使いになるときは、「使用可」ランプが点灯するまでに2分間かかります。） なお、待機電力は約1Wで、1日1円以下です。
その他	使うときは前に使った水が残っているのでは?	本体内部には前回使用した際の水が若干残っていますので、使用するときはしばらく通水して、「使用可」ランプが点灯してから使用してください。 通水時間の目やすは24ページを参照してください。
その他	誤って湯を通してしまったのですが、大丈夫ですか?	短時間であれば故障の心配はありません。 60℃で2分以内が目やすです。 本体に通した湯は使用しないでください。湯ににおいがついていることがあります。

故障かなと思ったら

故障かなと思われたときは、修理をご依頼になる前に次のことをお調べください。

	現　象	主な原因と処置
①	操作パネルのいずれのランプも点灯しない	●差込みプラグがはずれていませんか? 差込みプラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 ●本体に通水しない状態が5分以上続くと、全てのランプが消えます。 「モード選択ボタン」（「各部のなまえとはたらき」10ページ参照）を押すか、本体に通水すると点灯します。
②	通水開始後「使用可」ランプがなかなか点灯しない	●長時間ご使用にならなかったとき。 初めて本体に通水したとき、または一度差込みプラグを抜いて再び差し込んだ後は「使用可」ランプが点灯するまでに約2分かかります。また10時間以上ご使用にならなかった場合は約12秒～2分かかります。（24ページ参照） ●水量が不足していませんか? 蛇口を開け、水量を多くしてください。 ●カートリッジ「交換」のランプが点滅していませんか?（31.32ページ参照） カートリッジの寿命です。新しいカートリッジに交換してください。 ●電解層の電極にカルシウム分が付着していませんか? 洗浄運転を行ってください。 ●切換コックのメッシュがつまっていませんか?（27ページ参照） 切換コックを分解してメッシュを洗浄してください。 ●原水ホース・排水ホースが折れ曲がっていませんか? 折れ曲がりを直してください。
③	アルカリイオン水または酸性水を生成中、突然「ミルク・薬」（浄水）モードになる	●10分以上続けて生成していませんか?（24～26ページ参照） 再度「アルカリ」または「酸性」のモードを選んでください。
④	排水ホースから水が出ない	●排水ホースが折れ曲がったりねじれたりしていませんか? 折れ曲がりを直してください。
⑤	カートリッジを交換しても「カートリッジ交換サイン」のランプが消えない	●「リセット」ボタンを押し忘れていませんか? 通水を止め、リセットボタンを2秒以上押してください。 ●差込みプラグを抜いたままリセットボタンを押していませんか? 差込みプラグを差し込んでリセットボタンを押してください。
⑥	pHを測っても中性しか示さない	●モード選択が「ミルク・薬」（浄水）になっていませんか? 「アルカリ」または「酸性」のモードを選んでください。 ●カルシウムを入れてください。 カルシウムが電気分解を促進させます。 ●「洗浄」ランプが点滅していませんか?（28ページ参照） 「洗浄運転について」にしたがって洗浄してください。 ●井戸水などをご使用の場合で、原水のpH値が低いとき、または原水中に遊離炭酸を多く含んでいるときにこの現象がおきることがあります。（23ページ参照）

故障かなと思ったら つづき

現　象	主な原因と処置
⑦ イオン水または浄水の出が悪くなったまたは出ない	●水圧が低すぎませんか？ 蛇口を全開にしてください。 ●蛇口をしぼりすぎていませんか？ 蛇口をもっと開いてください。 ●カートリッジを確実に取りつけていますか？ 確実に取りつけてください。 ●断水していませんか？ すぐに蛇口を閉じて、復旧を待ってください。 ●原水ホースが折れ曲がっていたり、つぶれたりしていませんか？ 折れ曲がりを直してください。 ●カートリッジ「交換」のランプが点滅していませんか？ カートリッジの寿命です。新しいカートリッジに交換してください。 ●水道が凍結していませんか？ ●切換コックのメッシュがつまっていませんか？ 切換コックを分解してメッシュを洗浄してください。 ●一度カートリッジ内の水を抜いたのでは？ カートリッジの水を抜き、再び取り付けて水を流すと、空気が混ざって水が出にくくなることがあります。しばらく通水すると水量が回復します。
⑧ 生成された水が温かい	●原水に湯が混ざっていませんか？ 本体には35℃以上の水は通さないでください。
⑨ 本体の下から水が出る	●カートリッジを交換したのでは？ カートリッジを取りはずす際、カートリッジの残留水が本体の底面から少量排出されますが故障ではありません。 ●カートリッジ押さえが確実に取りつけられていますか？ 「カチッ」と音がするまで確実に取りつけてください。 ●カルシウムキャップをつけ忘れたりゆるんだりしていませんか？
⑩ 切換コックの安全弁から水が噴き出す	●水圧が高すぎませんか？ 最高使用可能水圧は、0.75MPaです。高水圧の地域では、蛇口を少ししぼってお使いください。 ●カートリッジ「交換」ランプが点灯していませんか？ カートリッジがつまっていると処理しきれない水が安全弁から出てきます。新しいカートリッジに交換してください。 ●切換コック内のメッシュがつまっていませんか？ メッシュがつまっていると、処理しきれない水が安全弁から出てきます。メッシュを洗浄してください。 ●原水ホースが折れ曲がったりつぶれたりしていませんか？ 折れ曲がりを直してください。
⑪ いやなにおいや味がとれない	●カートリッジの寿命です。カートリッジを交換してください。
⑫ 生成された水に白いものが混じる	●カルシウムケースをとりはずしていませんか？ カルシウムは必ず、カルシウムケースに入れてください。

※以上の処置を行っても改善されない場合は、差込みプラグを抜いてから、アフターサービスをご依頼ください。
なお、お客さまご自身での分解・修理・改造は絶対しないでください。

アフターサービスについて

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3. 修理をお申しつけされるとき

≪保証期間中≫
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

≪保証期間を経過しているとき≫
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 6年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。
「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理、分解や改造は絶対にしないでください。

仕　様

品　番		PS-FB30
電　源		AC100V　50/60Hz
消費電力		約90W（待機時 約1W）
本体	寸法（cm）	幅約18.4×奥行約12.4×高さ約22.9
	質　量	約3.2kg（満水時:約3.7kg）
本体使用可能最高水温		35℃
使用可能水圧		0.07~0.75MPa
電解	生成量（動水圧0.1MPa）	アルカリイオン水:約1.7ℓ/分 酸性水:約0.6ℓ/分
	電解能力切替	アルカリ3段階　酸性1段階
	連続使用可能時間	約10分
	電極洗浄	自動洗浄

浄水器	ろ材の種類	不織布、繊維状活性炭、中空糸膜、イオン交換樹脂
	ろ過流量	3L/min
	※浄水能力 濁り	20,000L
	※浄水能力 遊離残留塩素	11,000L
	※浄水能力 溶解性鉛	3,000L
	※浄水能力 総トリハロメタン	1,500L
	ろ材（カートリッジ）の交換時期の目やす	約2年（15L/日使用時）約1年（30L/日使用時）
	除去できる成分	遊離残留塩素、濁り、総トリハロメタン、溶解性鉛
	除去できない成分	水中に溶けている塩分や鉄分
電源コードの長さ		約3m
保護装置		電流ヒューズ　3A サーモスイッチ　95℃（電解トランス内蔵） 温度ヒューズ　127℃（電解トランス内蔵）

※浄水能力は家庭用浄水器試験方法（JIS S 3201）に基づく測定値

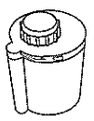
愛情点検

長年ご使用のアルカリイオン整水器の点検を！

こんな症状はありませんか
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさい臭いがする。
- その他の異常や故障がある。

お　願　い
こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検（有料）をご相談ください。

別売品 〈消耗品〉



- 交換用カートリッジ PS-KF01
- カルシウム PS-L62 1袋:3g入　20本
- カルシウム PS-CF01 1袋:3g入　10本 （2006年7月発売予定）